



水道技術者ブロック別研修会（郡山市：6月1日～2日、水戸市：6月10日～11日、

奈良市：6月29日～30日、北九州市：7月1日～2日）

水道の維持管理に万全を期することを目的に、全国の水道関係技術者の方々95名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質管理」、特別講義「地震等緊急時対応の手引きの意義と活用」について研修を実施した。

なお、北海道ブロック（札幌市）、中部ブロック（富山市）、中国四国ブロック（米子市）は、開催を中止した。

水道事業事務研修会（経営初級コース：6月9日～11日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々36名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道事業における会計実務の基礎」、「会計実務～例題・演習～」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」、「経営分析」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

第752回抄録委員会（6月11日）

本誌9月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

第161回水道 GLP 認定委員会（6月16日）

水道 GLP 認定について審議した結果、公益財団法人愛媛県総合保健協会（JWWA-GLP146）の新規認定を決定した。

また、株式会社環境計量センター（JWWA-GLP140）の認定維持、並びに環境未来株式会社（JWWA-GLP092）及び一般社団法人新潟県環境衛生中央研究所（JWWA-GLP129）の認定延長を決定した。

水道基礎講座（大阪会場第1回：6月16日～18日）

水道業務に従事する新規採用職員（事務系・技術系）の方々33名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。

漏水防止講座（東京会場第2回：6月21日～23日、東京会場第3回：6月30日～7月2日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々53名（東京会場第2回28名、東京会場第3回25名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使っての現地研修を行った。

第996回会誌編集委員会（6月23日）

本誌7月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

令和3年度第2回理事会（6月24日）

吉田理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について説明した。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第98回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」について計2題が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第98回総会（6月24日）

第98回総会が、日本水道協会において、Web会議システムを併用し開催された。

開会にあたり、日本水道協会を代表して吉田理事長から挨拶があり、定款の定めにより吉田理事長が議長となり議事に入った。

第1号議案「公益社団法人日本水道協会役員の改選」について、事務局より提案資料に基



総会の様子



本協会代表挨拶：
吉田理事長



監査報告：大谷監事

づき新役員について説明があり、審議の結果、原案のとおり新役員を決定した。続いて、第2号議案「公益社団法人日本水道協会運営会議委員の改選」について、事務局より提案資料に基づき委員改選について説明があり、審議の結果、原案のとおり新委員を決定した。続いて、第3号議案「令和2年度公益社団法人日本水道協会会計決算の承認」について、事務局より提案資料に基づく詳細な説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第3号議案については、事務局の説明に続き、監事を代表して大谷幸二郎氏から監査報告があった。

次に、報告事項として「令和3年度公益社団法人日本水道協会会計予算」について、資料に基づき、事務局より説明があった。

総会終了後、同日開催された第3回理事会で代表理事に再任した吉田理事長より挨拶があったのち、「水道事業の現状と課題～水道第四世代の創生 事業単位から地域・圏域単位へ～」と題し、厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長の熊谷和哉氏を講師に迎え、特別講演を開催した。



特別講演：厚生労働省 熊谷水道課長

令和3年度第3回理事会（6月24日）

特別会員の吉田理事が議長となり、第1号議案「代表理事の選定」が上程され、審議の結果、吉田理事が代表理事に決定した。

次に、第2号議案「公益社団法人日本水道協会第99回総会の開催及び開催通知の送付」が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

